

事務事業評価シート(平成21年度)

(建設・整備事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>				担当課		課長名		記入者	
				生涯学習課		安田一司		藤浦美由姫	
事務事業名				新規・継続		事業開始年度		完了予定年度	
文化会館施設改修設計委託業務				○ 新規		20 年度		21 年度	
				継続		H20以前		未定	
事務事業の体系									
計画 掲載	多可町総合計画			(章) 2 笑顔でつむ、あったかいまち			(節) 2 学ぼう、活かそう		
				(基本計画)			地域文化・芸術文化の振興		
	個別計画								
根拠法令・条例・要綱等				事業区分 (該当する区分に「○」)					
				ソフト事業		施設の維持管理			
				義務的事業		内部管理事務			
事務事業の具体的内容				○ 建設・整備事業		計画などの策定			
外壁及び屋根改修、音響反射板改修、2階客席改修、ロビー及び会議室のカーペット張り替え						補助金の支給		有 ○ 無	
						委託		全部委託 ○ 一部委託	
						委託なし(全部直営)			

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
職員、業者	文化会館	会館を安全・良好に使えるようにする

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>				会計名		一般		会計	
細目名		文化会館事業		細目名				細目名	
予算 コード	款	項	目	予算 コード	款	項	目	予算 コード	款
	10	5	9						

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	20年度 決算	21年度 実績(見込)	22 年度 計画	備 考 (全体事業費など)
総 コ ス ト			4,204	62,722	0	H20・21年度で大規模改修工事は完了
コスト の内訳	直接事業費	千円	2,310	60,961	0	
	所属内間接費		39	45	0	
	人件費		1,855	1,716	0	
	投入人員	正職員 嘱託員	人/年	0.21	0.21	
財源 内訳	国・県支出金					合併特例債
	地方債	千円	2,400	53,800		
	その他特定財源					
	一般財源		1,804	8,922	0	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 見込	22年度 目標
1	施設改修設計委託業務	改修箇所の選定、設計	改修工事費	千円	2,580	1,134	完了
2							
3							
4							
5							

(建設・整備事業) (B面)

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [文化会館施設改修設計委託業務]			
成果指標(意図の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 実績(見込)	22 年度 目標	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
改修工事費	千円		54,807	0	

7 事務事業の事後評価 <Check>				(建設・整備事業)					
チェック項目				該当項目に「○」			担当の把握している課題		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は			ない	○	ある	業者選定については、委託先の能力もあるが、思いが異なっており、打合せ及び設計変更が多々あったことが課題である。	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は		○	ない		ある		
		歳入確保を検討する余地は		○	ない		ある		
		契約時期や工期設定に問題は		○	ない		ある		
		業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は			ない	○	ある		
有効性	目標の達成度	当初予算(計画)どおりに事業が実施できて		○	いる		いない		
		事業の効果が明らかで		○	ある		ない		
	持続の可能性	維持管理などの後年度負担に十分配慮されて		○	いる		いない		
		環境に配慮されて		○	いる		いない		
改善の可能性				1.改善の余地はない			○	2.改善の余地がややある	
				3.改善の余地が多い				4.抜本的な見直しが必要	

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>文化会館施設改修設計委託業務

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) 委託業者の調査能力にもよるが、工事箇所の優先順位及び現状把握がなされておらず、打合せに時間を要したため、今後は当初設計の段階での綿密な打合せが必要だと考えられる。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 当初の設計段階において不備な点があり精査に時間を要したため、今後は十分な調整が必要である。 時代に即応した設備機能を考えなければならないため、計画的な設備更新、機能強化を図る必要がある。									
所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討	○	7.終了・完了	内部評価		3
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状のまま継続する。									
事業評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討	○	7.終了・完了			
評価委員コメント									
保守・安全に気をつけて進めてほしい。									